

公益社団法人日本青年会議所 2025 年度 基本方針	
三重ブロック協議会 会長 森下 巧麻	
ブロック協議会 の未来	MAKE FUNNY FLASH 結束力が実現する 明るい未来と笑顔に満ちあふれた三重の創造 三重ブロック内 11LOM にはそれぞれの地域特色があり多様性に満ちあふれたブロック協議会です。中でも産業や歴史、自然環境や食文化に圧倒的なポテンシャルを秘めています。三重県内 11LOM が地域の特色をいかした質の高い運動に取り組み、強化し、連携体制を持続していくことで、地域全体に好循環をもたらし、希望と笑顔に満ちあふれた三重が実現します。未来への連携と拡大強化で三重ブロックは大きく変わり、進化とともにおもしろく発展していきます。
ブロック協議会の 役割	三重ブロック協議会は、11LOM をサポートし、出向支援を通じた理念共感の推進や会員拡大、アカデミー対象者、中間層向けの育成に取り組むことが課題です。また、連携と広報を強化し、運動の波及効果を最大化する必要があります。
ブロック連携事業 (政策手法)	<p>1. 各地域における課題と質の高い運動の調査・研究及び全体最適化 三重県内の各地域の質の高い事業を収集し、調査を行い本会に提出します。調査結果を基に本会から提案される企画・立案の全体最適化が行われた後に全体最適化された事業の展開を LOM にて行います。その事業を全国へ広めるためのフォローアップを三重ブロック協議会が行います。</p> <p>2. 地域に眠る活用しきれていない資源の調査・発掘・研究 三重県伊勢市の伊勢神宮おかげ横丁の活用しきれていない夜の時間帯について、赤福・伊勢福、伊勢市観光協会、伊勢志摩観光コンベンション機構、伊勢青年会議所、三重県内各 LOM と連携し調査発掘を行います。普段知られていない、夜のおかげ横丁の環境を損なうことなく、経済効果を生み出す好循環モデルを研究し、6 月下旬には事業を実施します。</p> <p>3. 誇れる組織への改革に向けた運動を加速させる各種プログラムの実施・支援 ブロック協議会主導で各 LOM の中間層向けに JCI Achieve や JCI Impact を開催し、JCI アクションフレーム (JAF)を活用して LOM のプロジェクト構築を支援します。フィードバックを共有し、各 LOM に成果を報告・共有することで組織改革を加速します。</p> <p>4. ブロックアカデミーにおける JAYCEE 育成カリキュラムの運用支援 各 LOM で JAYCEE 育成カリキュラムを導入し、短期間のメンバーにも理解しやすい内容でリーダーシップを重視します。本会と連携し、ワークショップや研修会を開催し、定期的にフォローアップします。複数回の開催を通じて全員が参加できるようにし、地域間交流を促進して組織全体のリーダーシップ育成を促進し連携を強化します。</p> <p>5. 理念共感拡大グランドデザインの検証 三重県内の各 LOM で理念浸透サーベイを実施し、会員の理念理解度と共感度を測定します。結果を基に、過去 5 年間の理念浸透率とアクション促進状況を分析し、最終年度の理念共感拡大の成果を検証して本会に報告します。その後、各 LOM に個別フィードバックを行い、強化すべき点と今後必要なアクションを明確にします。</p>
ブロック協議会 独自の事業	<p>1. スポーツ大会の開催と実施</p> <p>【背景】 地域の活性化には、異なるバックグラウンドを持つ人々が協力し合うことが不可欠です。三重県内の青年会議所に所属する会員が、スポーツを通じて交流を深め、共通の目標を持つことで、地域全体の連携力</p>

	<p>を強化することが求められています。</p> <p>【目的】</p> <p>スポーツを通じて、三重県内の各青年会議所の会員がグッドルーザーの精神を共有し、地域間の垣根を超えた友情と絆を深め、会員間の信頼関係を築くことを目的とします。</p> <p>■推進体制【手法】</p> <p>三重県内 11LOM の会員が参加するスポーツ事業を鈴鹿で開催し、各 LOM の会員同士が競技を通じて交流します。競技終了後には表彰式も行います。事業後、交流を図る懇親会も開催します。</p>
	<p>2. 第 55 回三重ブロック大会の実施</p> <p>【背景】</p> <p>三重県内の 11LOM は、それぞれが独自の活動を展開してきましたが、全体の連携と協力を強化するためには、共通の目標を共有し、集大成としての結束を図る場が求められています。</p> <p>【目的】</p> <p>三重県内の 11LOM が一堂に会し、集大成の場として結束力を深める大会の開催を目的とする。</p> <p>【手法】</p> <p>第 55 回三重ブロック大会では、三重県内 11LOM と地域住民が協力し、各 LOM のブースで各地域の特色や成果を紹介する展示ブースやワークショップを開催します。また、共通の目標に基づくステージ発表を各 LOM が行いつながりを強化します。鈴鹿市を開催地とし、三重県民や一般住民も参加できる三重ブロック大会を通じて、絆を深め、結束力を高める場とします。</p>
ブロックによる LOM 支援の 実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各 LOM に関する情報を発信し情報共有と活動意欲を高めます。 2. 少数 LOM に対して、実際の活動に直接参加して支援を行う形での出向支援を実施します。 3. 役職付きメンバー推奨プログラムを活用する。 4. 三重ブロック内 11LOM が意見交換や情報共有ができる交流の場を設けます。